

# 「聞こえのセルフチェック」

まずは自分の聞こえの状態をチェックしましょう！

当てはまる項目に✓チェック  
してみましょう。

- 会話しているときに聞き返すことがよくある。
- 後ろから呼びかけられると気づかないことがある。
- 聞き間違いが多い。
- 話し声が大きいと言われる。
- 見えないところからの車の接近に気づかない。
- 電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい。
- 耳鳴りがある。



## いくつチェックができましたか？

- 0個 現在の聞こえに問題はなさそうです。少しでも聞こえに不調がある場合には、聴力検診を受けてみましょう。
- 1～2個 実生活でお困りのことがあれば耳鼻咽喉科を受診しましょう。
- 3～4個 耳鼻咽喉科で相談してみましょう。
- 5個以上 早めに耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。

※参考：一般社団法人日本補聴器販売店協会ウェブサイトより

## 聞こえにくいまましていると・・・

会話に消極的になり、活動  
範囲が狭まり、コミュニ  
ケーション不足に！

認知症発症の危険因子の  
ひとつとも言われています！

車の接近などに気づきにくく、  
外出時に危険なことも！

60歳代後半で3人に1人、75歳以上では半数の方が加齢性難聴とも言われています。聴力は年齢とともに徐々に衰えていくため、自分では気づきにくいことも。聞こえにくさをそのままにせず、早目に耳鼻咽喉科を受診しましょう。

※耳鼻咽喉科一覧は裏面にあります。

## 鳥取市内の耳鼻咽喉科一覧

医療機関名	所在地	電話番号
いわした耳鼻咽喉科医院	鳥取市叶320-1	0857-38-4133
きむら耳鼻咽喉科医院	鳥取市富安一丁目76-2	0857-37-1611
たけうち耳鼻咽喉科	鳥取市里仁54-8	0857-50-0311
鳥取赤十字病院	鳥取市尚徳町117	0857-24-8111

※五十音順（掲載許可の得られた医療機関のみ）

耳の疾患など、加齢以外で聞こえにくくなっている場合は、治療等で聞こえが良くなる場合があります。

耳鼻咽喉科では、聴力検査、難聴の程度、補聴器が必要かどうかを診断します。



### 補聴器を勧められたら早目の装用を検討しましょう

「まだ聞こえるから補聴器を使うのは早い」、  
「もっと年を取ってからでいいかな？」と、聞こえにくいまましていると、会話を楽しむことが難しくなったり、家族や友人とのコミュニケーションがうまく取れなかったりすることがあります。

より良いコミュニケーションと心の健康のためにも、早目に補聴器使用の検討をしてみましょう。

### 補聴器の購入について

・補聴器は高額なものです。購入後も調整が必要な場合があり、購入の際は医師やご家族によく相談して購入することが大切です。

・聴覚の障害者手帳の交付を受けると、補聴器の購入費用の支給を受けられる場合があります。聞こえの程度が手帳に該当するか、まずは、医師にご相談ください。

・手続き方法など、下記お問合せ先に事前にお問い合わせください。

身体障害者手帳・補聴器の支給に関するお問合せ先

鳥取市福祉部 障がい福祉課

TEL：0857-30-8455

このチラシに関するお問合せ先

鳥取市福祉部 長寿社会課 管理係

TEL：0857-30-8211